

PhD 躍動メディカルサイエンス人材養成

(実施期間：平成 20～24 年度)

実施機関：慶應義塾大学（総括責任者：清家 篤）

プロジェクトの概要

優秀な PhD 人材が躍動する社会を日本に構築するため、本学の医科学研究領域における産学協働「リサーチパーク」を最大限に活用して新たな人材養成システムを実施する。キャリアディベロップメントセンター「MEBIOS (Medical Biologist Support)」を新設し、企業経営経験を持つ者をメンターとして採用し、会社社長・会長クラスのアドバイザリーボードを置く。実践プログラムでは、メンター制度によるサポートの下、MBA・知的財産管理・創薬開発などの学内教育研究リソースを活用した講習や、企業における長期的取り組みを行い、実践プログラム終了後にスムーズに企業等へ就職する流れを作り、社会とアカデミアの人材循環システムを構築する。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	イノベーション人材養成システム改革状況	実践プログラムの開発・運用状況	実施体制	今後の進め方
A	a	a	a	a	a

総合評価： A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

医学系の優秀な医系非医師博士人材（non-MD）研究者を確保することを主たる方針として事業を計画し、non-MD ポストドクターの養成、キャリア支援という敢えて困難な事業を行い、成果をあげた点は評価できる。採択後は、博士課程（後期）学生、理工学系部局、また、他大学にも開放したことにより、所期の方向性が曖昧になった感は否めないが、全学への展開、他機関への波及、民間企業への輩出の成果もあげたことから、所期計画を達成した。医療領域は国内外にて類似のニーズ、価値、サービスが求められる場合が多いため、今後、医療に特化する場合には、海外で活躍できる人材育成も強く意識した事業継続を期待する。

- ・**目標達成度**：就職が難しいと思われる医学系の non-MD ポストドクターを主たるターゲットとして実施した取組であるにもかかわらず、コーディネーターによる積極的な企業開拓、メンターによるきめ細やかな指導により成果を上げている。ポストドクターの長期取組修了者の企業就職率が高いことも含めて評価できる。
- ・**イノベーション人材養成システム改革状況**：1対1のメンターによる丁寧な指導、コーディネーターの開拓した企業とのマッチングの活用によりテーラーメイドの指導を行い、non-MD ポストドクター及び企業両者の意識に楔を打ち、本事業を成功させたことは評価できる。人材教育としてはマッチング・プログラム以外のプログラムの実施も期待する。
- ・**実践プログラムの開発・運用状況**：メンタリングが奏功し被養成者個人々の希望に応じたテー

ラーメイドのマネジメントにより本事業の成果を上げたことは評価できる。今後、メンタリングの継続、補強と学内でのシステム化を期待する。

- **実施体制**：医学部長の強いサポートの下、優秀なコーディネーター、メンター等によるしっかりとした実施体制が構築され、事業が進められた。今後は、特定個人の能力に頼らず、組織の中にうまく落とし込んで継続させることを期待する。
- **今後の進め方**：今後の産業界の展開を見据えた博士人材の養成指針が示され、養成のための資金確保もできていることは評価できる。今後とも、優秀なコーディネーターやメンターを確保して事業の継続性を担保し、医学系だけでなく、全学の博士人材養成事業として展開していくことを期待する。